

学校教育活動の充実を目指して

教員が子どもと向き合う時間を確保!!

府民の教育に対する関心や期待が、ますます大きくなる中で、府教育委員会では、庁内にワーキングチームを設置し、「今、学校現場に何が求められているのか。」ということを検討してきました。

その結果、「これまで以上に教員が子どもと向き合う時間を確保する!」という一つの目標を掲げ、学校・教員を全力で支え、子どもたちへの教育活動を充実するための取組を平成20年度から実施していきます。

学校現場を取り巻く現状

- 従来は家庭や地域社会が果たしてきた役割が学校に求められる傾向
- 緊急事案や多種・多様な課題・要望への対応
- 増え続ける調査や照会などの事務作業
- 会議の増加、複雑な校務分掌 等

〈課題〉
子どもと向き合う時間の確保が
年々困難になっている。

課題解決の 方向

① 専門家による支援!

例：学校だけでは対応が困難な緊急事案やあまりにも理不尽な要求に対して、学校支援アドバイザーや専門家による助言

② 地域の人材による支援!

例：学校の運動部活動に外部からスポーツ指導者を派遣

③ 事務的作業の効率化!

例：多岐にわたる調査・統計業務の廃止・統合

効果

- 専門家の支援で、子どもや保護者への対応が充実
- 専門的な指導による運動部活動への支援
- 外部対応や事務的作業が軽減され、教員の子どもと向き合う時間が拡充

※ この他、「効率的な会議の開催」や「情報機器を活用した学校業務の効率化」などについて、引き続き検討していくこととしています。

「教師力」の向上を目指して ～具体的な取組を進めています～

教員の大量退職・大量採用の時代を迎えて、子どもたちを直接指導する教員の資質能力の向上が更に求められる中、平成19年6月に策定した「教師力」向上のための指針に基づき、教師力の更なる向上に向け積極的に取り組んでいます。

既に実施している 具体的な取組

教員に対する「研修」や「指導・支援」の分野において、既に平成19年度から新たな取組を進め、大きな成果を上げています。

教員の研修

「教師力」向上地元パワー活用事業

地元京都の大学や企業などの持つ知的財産や優れたノウハウを活用し、「教科指導力低下」や「教育実践や学校運営の中核を担うミドルリーダーの不足」といった大量退職時代の緊急の課題に対応するための質の高い研修を実施し、延べ約1,500人の受講者から、その実践的な内容に対して高い評価を得ました。

講座の内容

- ① 小学校授業実践講座
- ② LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥・多動性障害)などの理解とサポート講座
- ③ 高度情報化とセキュリティ講座
- ④ コーチング実践講座
- ⑤ プレゼンテーション能力向上講座
- ⑥ メンタルヘルス講座 等



プレゼンテーション能力向上講座

4つの機能で教員をサポート

カリキュラムルームの開設

教員を直接支援し研修講座をサポートするため、平成19年7月、総合教育センター(伏見区)と北部研修所(綾部市)にカリキュラムルームを開設し、若手教員などを支援しています。

4つの機能

- ① 教師力向上アドバイザーによるコンサルテーション(相談)
- ② 授業や学級経営に役立つ教育雑誌や学習指導案など教育情報・資料の提供
- ③ 専門家によるカウンセリング
- ④ 教員同士の交流・研究協議の場の提供



総合教育センター
カリキュラムルーム

「指針」の内容の 具体化に向けた検討

「総合教育センターの機能充実」や「校内における人材育成の活性化」など、今後取り組む主要な課題について、「指針」の内容の具体化に向けた検討を進めています。

※詳しくは、<http://www.kyoto-be.ne.jp/kyoshoku/>をご覧ください。

平成19年度 全国中学校体育大会

■ 全国中学校駅伝競走大会

順位	種目別	男女別	学校名	団体・個人別	種目
1位	陸上競技	女子	京都市立蜂ヶ岡中	鷹本 結 竹今紗英	第2区 区間賞 第3区 区間賞
3位	陸上競技	女子	京都市立蜂ヶ岡中	団体 土野杏都未	第4区
4位	陸上競技	女子	京都市立蜂ヶ岡中	久嶋映莉子	第5区
5位	陸上競技	男子	綾部市立綾部中	新庄翔太	第1区

平成19年度 その他の全国大会

■ 2008日本ジュニア室内陸上競技大会

順位	種目別	男女別	学校名	団体・個人別	種目
1位	陸上競技	男子	長岡京市立長岡第四中	米澤宏明	走幅跳

(平成20年2月5日現在)

育てよう! 主体的な学び、伝え合う力

宮津市立府中小学校

本校では、国語力向上拠点校としての取組を行ってきました。

授業では、伝え合う力の向上を目指し、「府中小メソッド」に基づいた授業展開を行い、自分の考えを明確に持ち、めあてに沿った振り返りを大切にしてきました。また、「ことばの時間」では、実用的な言語技術のトレーニングをし、相手に分かりやすい伝え方を身に付けさせ、学習や生活の中で「生きたことば」として使えるよう学習を進めてきました。

また、全員が同じ本を読み進める20冊読書日記や、家庭における読書活動の奨励としての“家読(うちどく)”、PTAボランティアによる読み聞かせなど、読書活動の充実も図ってきました。

これらの取組により、児童は相手に分かりやすい伝え方を意識したり、本に興味を持ち自分から読もうとしたりできるようになってきました。

府中小メソッド

1. 主体的な学習を促すための学習課題(めあて)を提示する。
2. 発声の場面を作る。
3. 互いに評価し合い、伝え合う場の設定をする。
4. 次の学習に生かす振り返りをさせる。



シリーズ

人権
じんけん

自分の思いを、どう伝える? ~アサーティブネス(非攻撃的自己主張)~

「まわりの人と、仲良くしていきたい。」と、多くの人は思うでしょう。

でも、相手から何かを頼まれたり、一方的に何かを言われたりしたとき、「自分は断りたい。」「そうは思わない。」ということはないでしょうか? そんなとき、「でも、断ると後が気まずくなるかも…。」「自分さえ、がまんすればいいんだから…。」と考え、自分の思いを伝えきれないことがあります。

アサーティブネスとは、相手の気持ちを傷付けずに自分の思いを相手に伝えるという考え方やそのための方法のことです。

相手のことを攻撃するような言い方よりも、むしろ自分自身の内面の気持ちを素直に伝えるようにすれば相手も受け入れやすくなるのではないのでしょうか?

例えば断りたい時、
次のような言い方もできますね。

- (1)「ごめんね。」
- (2)「実は、～でね。」
- (3)「だから、～できないんだ。」
- (4)「そのかわり～」



シリーズ 文化財

平成19年度 国指定重要無形文化財保持者の認定

府の無形文化財保持者の森口邦彦氏が、新たに国指定重要無形文化財「友禪」の保持者(いわゆる「人間国宝」)に認定されました。

指定名称 友禪 保持者 森口邦彦氏 (京都市中京区在住)

友禪染は、江戸時代中期に確立された多彩で鮮やかな絵画的表現が特徴の、我が国を代表する染色技法です。

森口邦彦氏は、京都市立美術大学(現京都市立芸術大学)卒業後、パリ国立高等装飾美術学校でグラフィック・デザインなどを学ばれました。帰国後、重要無形文化財「友禪」保持者であられた父・森口華弘氏に師事され、伝統技法を継承しつつ、花や雪、流水などの題材を幾何学文様で構成・表現するなど、斬新で芸術性の高い独自の作風を確立されました。現在、(社)日本工芸会副理事長を務められ、平成19年度「わざの美:伝統工芸の50年」展の大英博物館開催に協力されるなど、伝統工芸の公開・普及などの事業にも尽力されています。



(無形文化財 友禪 森口邦彦「位相色紙文」)

ご相談ください

京都府教育委員会では、子どもの心身の成長や発達、いじめ、不登校、また保護者の方の子育てやしつけなどの悩みについて、電話、来所、巡回及びメールによる教育相談を行っています。

電話教育相談

ふれあい・すこやかテレフォン

■ 075-612-3268 又は 3301

毎日(24時間対応)

京都府総合教育センター(伏見区)

■ 0773-43-0390 毎日(24時間対応)

京都府総合教育センター北部研修所(綾部市)

来所・巡回教育相談

■ 月～金【祝日を除く】

上記の電話でお申し込みください。

臨床心理士又は精神科医などが直接会ってお話をうかがいます。

メール教育相談

■ メールアドレス

sukoyaka@kyoto-be.ne.jp

PTAが活躍しています! 「親のための応援塾」

参加者アンケートから

- 約7割の保護者が入学前に不安を感じている!
- 特に一人目の子を入学させる保護者の不安は大きい!
- 「学校生活や授業内容」「生活習慣」「しつけ」などに不安がある!

不安にこたえようと、それぞれのPTAが工夫を凝らして応援塾を開催しています。



向目市立第3向陽小学校PTA
はじめまして! 笑顔で自己紹介

- 子どもの生活や学習習慣がしっかり身に付くよう、小学校就学前の子どもを持つ保護者を応援します。
- PTA会員が、新しく会員になる方を支えます。「助けられたい助けたり」、親同士のつながりの輪を広めます。



宇治市立南部小学校PTA
おいしそう! 子どもと一緒に給食準備

子育てを 先輩のPTA会員が応援します!

親のための応援塾

(京都府PTA協議会への委託事業)

- 平成19年度は 25市町村 29小学校PTAで実施
- 生活習慣・しつけなどに関わっての交流会 (75講座)
- 学校探検・通学路体験・給食試食会 本の読み聞かせなどの体験 (33講座)
- 食育・テレビやゲーム・親の言葉かけ 子どもの発達などについての講演 (44講座)



京丹波町立明俊小学校PTA
朝ごはんは大切! 工夫ひとつで栄養満点

参加者の声

「応援塾」という場ができて心強い。来年度も続けてほしいです。

うちの子は一人っ子。入学前に、小学校の話が聞け、学校を身近に感じました。



福知山市立大正小学校PTA
気軽な会話の中に、子育てのコツやヒントが...



京丹波市立新山小学校PTA
雨の降る中、わが子と通学路体験

参加者の声

普段から悩んでいたことを聞いてもらい、何だかほっとしました。

楽しい会でした。こんな応援塾が、府内各地に広がってほしいです。

高大連携による魅力ある学習支援

実践研究共同教育プログラムなどを実施

平成19年度は、文部科学省の「新時代に対応した高等学校教育改革推進事業」の委嘱を受け、京都みらいネットを活用したテレビ会議システムにより、府北部8校の府立高校生に対して、京都大学、京都教育大学、京都府立大学、京都産業大学、同志社大学、立命館大学の6大学10人の大学の先生から、「京の歴史、京の伝統文化」をテーマに、平安京や美術史、舞などの芸能などに関する多彩な講義をしていただきました。

また、大学コンソーシアム京都と連携した実践研究共同教育プログラムでは、山城高校、城陽高校、東舞鶴高校の3校が、複数の大学の先生の指導を受け、年間5回程度の連続講義を受けました。



テレビ会議システムによる講義(東舞鶴高校)



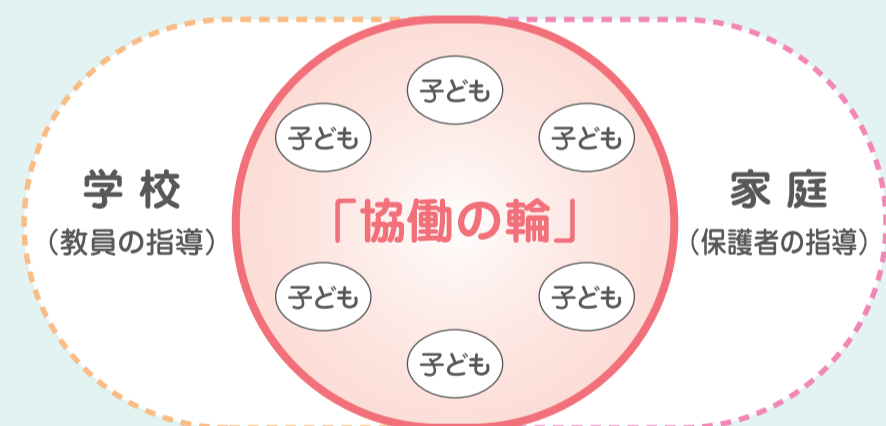
実践研究共同教育プログラム(城陽高校)

参加した生徒からは、「京都みらいネットは本当に目の前で講義をしてもらっているみたいで、遠くなのに直接質問ができたり、資料や写真を大きくみせてもらえたりして、すごいいいと思いました。」「難しい内容だったけれど、大学の授業のイメージをもつことができました。」などの感想が寄せられ、学習意欲の向上と大学への進路意識の定着が図られました。

考えていますか? 子どもの情報モラル。

— 求められる学校と家庭の「協働の輪」 —

高度情報化社会の中にあって、インターネットや携帯電話などが急速に普及し、子どもたちがトラブルに巻き込まれる事件が多発したり、チャットやメールによるいじめ(いわゆる「ネットいじめ」)といった新たな問題も発生しています。こうしたことを踏まえ、学校における情報モラル指導を充実するため、専門家を講師に招いて「情報モラル指導セミナー」を開催しました。



情報モラル指導セミナー

- テーマ1 「児童生徒を取り巻く情報社会の状況」
講師：西田 光昭氏
(千葉県柏市立土南部小学校 教諭)
- テーマ2 「情報モラル教育の実践事例」
講師：石原 一彦氏
(岐阜聖徳学園大学 教育学部 准教授)



「インターネットは身近な無法地帯」と語る西田先生

(平成20年1月9日
於：総合教育センター)

また、子どもの情報モラルは、家庭での保護者の役割にも大きなものがあります。学校と家庭が協働してできあがる「輪」の中で、子どもたちにしっかりと情報モラルを育んでいくことが必要です。

京都府では、家庭向けの情報モラル資料を作成したり、手軽に様々な情報を手に入れられる情報モラルポータルサイトを運営しています。子どもと一緒に考えてみませんか、ネットや携帯電話のこと。

- 京都府情報モラルポータルサイト
<http://www.kyoto-be.ne.jp/kyomoral/>
- 保護者向け資料集
「家庭で話そう! 情報社会のルールとマナー」
「情報モラル地域学習会用テキスト」
※全て、情報モラルポータルサイトに掲載されています。

「心の教育」学習資料集 『京の子ども 明日へのとびら』の活用が進んでいます!

第1部 執筆者作品 「自分をつくる楽しさ」(小学校・高学年編)
鉄人 衣笠選手の生きざまに学ぶ!

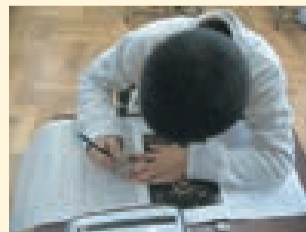


人がやるから、野球はおもしろい。

長所をおおいにのぼす努力を続けることによって、幸せや生きている喜びを感じる。

学習の中で自分自身を振り返る

今の自分を好きになれるのは、どんなところ?



子どもたちの声

- 初めての人もすぐに友達になれるところ。
- ものすごく負けすぎらいたから、負けたらもう一度チャレンジして成果を出すところ。
- 興味をもてば全力でやるところ。
- 自分の家族、ペットを大切にすること。
- 何かをするときに、できなくても「もう1回するとできるかもしれない」と思っているところ。
- スポーツなら何でも努力ができること。

第2部 児童生徒作品 「ぼくの なみだ」(小学校・低学年編)



学習の中で自分の生活を振り返る

あなたのまわりに、どんな涙がありますか?

子どもたちの声

- てつぼうで、まえまわりができなかったけど、れんしゅうしたらできました。ぼくはなみだをだしました。
- おこられてないたら、ママもなっていました。ぼくはびっくりしました。
- おかあさんがかいものについて、一人でいえなくて、おかあさんがかえってきたら、ないてしまいました。

家庭との連携

- 安静生活の末、あなたが無事生まれた瞬間、嬉しさと感動で泣きました。
- 子どもの優しい言葉に癒されて涙がこぼれました。
- 幼稚園を卒園したときに、いろいろなことが思い出されて涙が出ました。

保護者から子どもたちへのメッセージ



お母さんが はじめて しごとに行くとき ないたよ。
ちゃんと しごとができるかなと 思っ て ないたよ。
ひさしぶりに、おばあちゃんに 会えた ときも ないたよ。
入いんしていた おばあちゃんに 会えて うれしくて ないたよ。